



熱い!!

全国で成果をあげる プロファイnderユーザーの声

「経験がなくても知識と道具があればトマト栽培は魅力的になる！」 山下 哲平様
(岐阜県海津市 トマト生産者)



地区	岐阜県海津市
作物	トマト (りんか 409 (自根))
台木	-
作型	ポット耕による年1作長期栽培
施設面積	20a
定植	8月5日~7月上旬終了
定植本数	2.5本/m ²
プロファイnder導入日	2016年8月

【導入したきっかけは？】

まったく農業には縁のない通信関係のサラリーマン生活を送っていました。営業時代にお客先訪問などで色々な方と会話をしました。話の中でその頃コンピュータやスマートフォンなどの通信機器と唯一無縁の業種が農業であることに気付きました。農業と通信を繋げたネットワークを構築できればすごいなと感じて転職を決意しました。まったくの農業初心者がどうすれば農家になれるのか？何を作れば良いのか？さえわかりませんでした。そこで岐阜県就農支援センターのプログラムに参加し、1年間の座学と実習をへて新規参入する事ができました。プロファイnderとはその支援センターのハウスに導入されていて出会いました。

【導入した感想は？】

岐阜県就農支援センターでは、農業は測定をする事から始まることの大切さを学びました。ハウス建設や養液栽培、環境制御機器も最初の設備投資でした。就農支援センターの力も借りながら、導入後のアフターやセミナーの充実さで誠和の機種を選定しました(プロファイnderNEXT80)。1作目に関しては機器にもなれてなく自信も無く、朝昼晩とコンピュータの設定をいじりすぎたと思います。とにかく今までの経験値がなかったので戸惑う点や裏目に出る事が多々ありました。トマトに手をかける時間よりコンピュータと「にらめっこ」している時間の方が長かった気がしています。今回2作目を始めるにあたり、コンピュータに設定した内容に沿って環境管理を行い、設定を変えたくても我慢し自分はトマトにもっともっと手を入れることに専念しました。初期に自分自身がミスをしてしまい目標の収量までには至っていませんが、昨年より現段階で1t/10aは増えています。1作目は最終28t/10aでした。1作目よりは増収ではありますが自分の中では全く納得していません。環境を最適化することで病気も減り「ぎふクリーン農業」で定めている化学農薬使用量より一層減らして栽培ができました。しかし、まだまだトマトが持っている能力を引き出せていないと思っています。経験不足・知識不足ですね。環境も含めトマトの生理が解っていません。もっと誠和のセミナーに参加して勉強しないとダメですね(笑)。

【今後の抱負は？】

海津市は岐阜県内では歴史のあるトマト生産地です。私たちみたいな新規参入者が就農支援センターのカリキュラムを終了後、卒業生として就農していきます。私たち卒業生は産地の名前を汚す事なく着実に1歩1歩前進あるのみです。今後は施設内環境を私が理想とするものにより高い次元で制御できるようになりたいです。もっともっと反収をあげていきたいです。トマトパークでの環境管理を見ながら岐阜県にアレンジできる栽培を行って生きたいです。

【誠和担当者からの一言】

豊橋営業所の井手です。まず山下様インタビューお受けいただき、有難うございました。山下様とは昨年転職と同時にNEXT80の調整でお伺いしたのが初めての出会いです。とにかく会った瞬間にこの方は普通の農家ではない臭いがしたのを覚えています。様々なセミナーや勉強会、オランダトマト視察ツアーなど、とにかくアグレッシブに参加していただける方だなと気にしていました、それもご夫婦で。なるほど、今回のインタビューで納得納得・・・とにかく勉強熱心な方で会話もすごくポジティブ。何といってもサンダーバード基地のような管理室(オヤジ室)は必見！この部屋で同期卒業生や仲間と作戦会議も行うみたいです。今度私も参加させてください。誠和も今後は今まで以上に岐阜県に傾注していきます。力を貸して下さいね。